

第1回 新人助産師研修

於：山口県看護研修会館



新生児のフィジカルアセスメント

講師 小児科 松隈知恵医師
(山口大学医学部附属病院)



ハイリスク新生児を持つ家族のケア

講師 三木砂織 新生児集中ケア認定看護師
(山口大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター)

令和2年8月8日(土)新人助産師研修の開講式と研修を行いました。今年度は、公開講座を中止し新人助産師18名と助産師職能委員4名の縮小開催としました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、無事に研修を開催できたことに感謝いたします。



フィジカルアセスメントの講義では、ことばで自分の異常を伝えることができない新生児の特殊性をふまえて、『見る、聴く、触る』ことで変化を見逃さないことの大切さや、出生後に起こりやすい疾患と病態を学びました。午後はハイリスク新生児を持つ家族の心理やケアについて、講師の経験された事例も交えて実践に役立つ内容の熱い講義でした(詳細は、アンケート結果参照)。



講義終了後の交流会はコロナ禍のため中止、自己紹介はソーシャルディスタンスを保ちながら、会場いっぱいの円陣となり行いました。それぞれの助産師を目指した想いやきっかけ、就職後の状況、仲間づくりへの期待、学びへの意欲など語ってくれました。

助産師職能委員会では、新人助産師研修を通して、臨床助産実践能力の向上とネットワーク構築に向けてのサポートができればと考えています。また、研修後の臨床現場での活動を情報共有しながら支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(山口県看護協会助産師職能委員会)